

地域社会にロマンと夢を

大川創業株式会社 代表取締役社長

今年は庚寅の年、安岡正篤先生の言に依れば、庚は3つの意味がある。第一は継続、第二は償う、第三は更新。つまり前年から断絶する事なく継続して色々な罪、穢れを拭い浄めて償うと共に、思い切って更新して行くのが庚の意味。一方、寅の字は真中は手を合わせる、約束する象形で下の八は人。「慎む」の意があり、また寅は演に通じ、進展を意味する。志を同じくするものが情性を排し協力し合って創造、建設すべき年となる。大きな変化を期待して国民は民主党を選んだ。お互いに協力し合って国難に当たる必要がある。

そこで一昨年の「森羅万象 有り難う」、昨年の「泰然自若 常に感謝」に対し、今年の手紙は、「諸行無常 因果応報」と書いた。「前世の因縁でこうなったのだから諦める。仏に帰依すれば救われる」と言うが、私は違う。時代が大きく変わろうとしている今は、ビッグチャンス。大いに智慧を出し、夢に向かって行動した者は報われる、面白い時代。怠けたら怠けた通りの結果になる、という意味だ。

鳩山首相は'20年までに温室効果ガス削減25%と叫んだ。8%目標だって達成できないのに何を馬鹿など、一斉に非難の声が上がったが、首相が50%削減と叫べば25%位は達成できる。昔、松下幸之助翁はコストダウン10%は難しいが50%削減の方が易しいと言った。発想の転換だ。庚寅の年は正にこの為にある。

一昨年原油価格が高騰し、投機筋が汗を出して働く者達を困らせた。昔、原油1バレル40ドルになれば代替エネルギーは成り立つと言っていたのに、70ドルになっても政府は何もしなかった。147ドルまで高騰してやっと太陽光発電が新聞を賑わせた。すると太陽熱発電の方が太陽光よりコストが安いと来る。いや潮流・風力・サトウキビ等、自然エネルギーが登場したが、究極のエネルギーは水。泥水や雪でも車を走らせるという。「石油を使わない代替エネルギー研究者には、開発費を国が支援する。特に赤字企業には再生のチャンスを与える」と打上げれば「列島改造論」どころじゃない。あつという間に景気は回復する。一度バブルを体験している日本

大川 真一郎

を元に戻すのは簡単なのに、小泉郵政改革は抜本的対策をせず自らの手で自民党を壊し、景気は回復しなかった。

「晩年は、波乱万丈。オペラハウスを建てるところか命が危ない」と言われ、「進一郎」から「真一郎」に改名して4年。私の人生は、幼少の頃から波乱万丈だった。小学4年の時、小児結核で75日欠席。20歳までの命と言われ、学校を休んでラジオを聴いていると、「鹿も四つ足 馬も四つ足」の歌が流れてきた。病弱な自分も健康な同級生も同じ人間だと発奮し、新聞配達を小学6年まで続けたお蔭で、中学高校の6年間は無遅刻・無欠席の皆勤賞。闘病生活の中で「あいつに出来て、俺に出来ないはずがない。やらんヤツは馬鹿だ」。後期高齢者になった今でもチャレンジ精神は旺盛だ。

中学高校時代は卓球の選手で熱心に部活をしていたが、相手が阪大を受験すると聞き「俺も！」と遅まきながら猛然と迫るも不合格。YMCA 予備校で「阪大オーケストラに入ってコンサートマスターになる」と息巻く男と出会い、自分も何か楽器をしたいと言うとフルートを薦められた。入学の暁は「フルートを買ってもらおう」という目標を立て無事合格したが、父に「親に恥ずかしい思いをさせ、高い授業料を払わされ、しかもフルートを買え？ 贅沢言うな」と一喝されて諦めた時、質流れに何やら楽器があると渡されたのが、『クラリネット』であった。阪大オーケストラに入り、メロディーを吹きたかったが、ファーストは優秀で、卒業までセカンドに甘んじなければならない。そこで毎日ファーストの3倍練習した。陰の努力は実るもので、チャンスは意外に早く来た。最終学年サンケイホールでの阪大定期演奏会でモーツァルト・クラリネット協奏曲を演奏した。

卒業後、サンヨー冷蔵庫工場に入社すると一転企業戦士となり、本邦初の2ドア冷蔵庫を発案、入社2年目にはダンボール梱包委員長を務め、国鉄規格を他社に先駆けて取得。しかし、売上が好調の半年後にクレームが多発したため、辞表を提出すると「会社に損を掛けて辞めるとは何事だ。尻拭いしてから辞める」と怒鳴られ、改良品を出す。それがコストダウンにつながり、損害の3

倍もの利益を上げ、首を免れる。冷蔵庫の扉に絵を描くアートドアの量産化を命じられ、それが小型冷蔵庫1台売るより儲かり、一躍26%の工場利益率。工場長に「3～4年、アメリカで遊んで来い」と言われ、英会話と運転免許取得した時、「アメリカ行きは中止。俺は鳥取三洋の常務に栄転したから、お前もついて来い」と言われ同行し、暖房機を担当。四つ折ホームコタツは一機種で百万台売れ、未だにその記録は破られていない。

鳥取三洋時代は、3年間に新製品を50も出し、私の人生で一番充実した時期であったが、ある雪の降る中、本家の叔父が訪ねて来て「本家の養子になれ」と説得される。足を引きずっての頼みに断われず、冷蔵庫から暖房器、製造業から呉服屋と衣料スーパーの店主となる。叔父は私の入社1年後、癌で死去。住道駅前の土地3千坪に相続税1億5千万円がかかり、無借金経営から転落。早く借金苦から抜け出したいと15億円借りて、72年に始めたボウリング場経営に失敗し、月3千万円の返済金に苦しみ「最後の時が来た」と覚悟して町に出ると、年末「第九」を日本に流行させた白井次郎氏とバツリ出会い、15年ぶりにクラリネットを吹き始める。サンヨー時代は企業戦士で、クラリネットを封印していたので鳴らない。しかし一心に息を吐いていると「あら不思議」、肩の力が抜け、再建の為のアイデアが浮かんできた。3千万円は元利合計だから、利息だけなら月5百万円。金利だけ払って延命する事にした。亀井金融相は就任早々、困っている中小企業の返還金を一定期間猶予すると言っているが、私はそれを30年前に実行した元祖である。クラリネットのお陰だ。金利を支払う為にボウリング場地下駐車場を食品市場にしたところ、小売商業特別措置法違反で刑務所入りの寸前。「あの法律を作ったのはワシや、壊すのは訳ない」と言う弁護士に出会って助けられた。

バブル期、「人間金儲けして死んだ人は、一年後に忘れられてしまう。しかし文化（文学・美術・音楽・建築）を残して死んだ人は50年、百年後の人にも幸せを与える」というスペイン人経営者の言葉に感動し、長年の夢である「オペラハウスを建てる」と心に誓った。銀行に申し出ると、バブル崩壊と共に貸しはがしにあい、担保不足だと支店長に追っかけられた。

学生時代の音楽仲間が皆プロになっていたのも、私も関西フィルの前身ヴィエール・フィルに入団し、その後22年間代表を務めていたが、オペラパーク南館建設資金

融資に当たり、赤字企業を整理せよと言われ、関西フィルをNPOにして退任、名誉顧問となった。

2年前、大東市民祭りにチンドンヤで出演し、左足骨折。生れて初めての手術に縫い口から黴菌が入り、足は2倍に膨れあがる。骨髄炎の疑いで再手術。37日間の入院は、食事・トイレも1人で出来ない状態で「わしが、わしが」と突っ走って来た私が、ご飯を頂く時、苗作りから田植え・収穫・精米・炊飯と、色んな人の手を経て、「生かされている」ことを悟り、生れて初めて手を合わせて「有り難うございます」と唱えた。一心に「有り難う」を唱えていると、良い事ばかりが起こってきた。そこで「森羅万象 有り難う」と書いて年賀状を出すと、10人ほどの人から「良い事が起こったよ」と礼状が届く。私自身も、大阪桐蔭高校が17年ぶりに甲子園で優勝して、私の作曲した校歌がマンモス球場に流れ、胸が熱くなった。また、サンヨー時代から、乗用自動車のデザインをするのが夢で、8年前にクレオパトラのような美しいラインデザインを意匠申請していたところ、特許庁から登録された。そして、バブル崩壊から地価が暴落し17年間貸し渋りに会っていたのに「収益還元方式」という新手法で、地価に関係なく融資すると言われ、ようやくダイエー・ユニクロ・赤ちゃん本舗を核に42店からなるオペラパーク南館を一昨年3月オープン。ダイエーは前年比全国トップの売上である。現在隣接地で進めている、京阪百貨店を核にした東館の工事も、今年10月オープンを目指し順調だ。

物事が上手くいった時や達成したい時は「達成できた」と過去形にし、関係者に「感謝します」と言い、困った時は「有り難うございます」という「ツキを呼ぶ魔法の言葉」（五日市剛著）を唱えて、一步一步前進している。

南館・東館の売上が計画通りの収益を得られた時、最後の北館「ホテルのあるオペラハウス」が実現できる。松下幸之助翁も「夢なきものに信念なし。信念なきものに計画なし。計画なきものに成果なし。成果なきものに幸せなし。幸せになりたければ夢を持て。」と言っておられる。

大阪大学工業会主催「音楽会」も昨年の「カルメン」で10周年を迎え、今年は8月29日にオペレッタ「ジプシー男爵」を予定している。皆様のご来場お待ちしております。

（電気 昭和32年卒）